

執筆者一覧（氏名は掲載順）

論文

池田まこと 京都芸術大学非常勤講師

同志社大学大学院文学研究科美学芸術学専攻博士後期課程 修了、博士（芸術学）

主要業績

- ・「R・M・リルケの言語危機について：ホフマンスタールとの比較を通じて」『美学』第67巻1号、2016年
- ・「「ヴァレーの丘」に匂い立つ「芳しき香り（Fragrance）」に誘われて——リルケの仏語詩『ヴァレーの四行詩』のたくらみ——」（岡林洋・清瀬みさを（編著）『カルチャー・ミックスII』晃洋書房、所収）、2018年
- ・「リルケのフランス語詩における古代的言語段階への回帰の試みについて」『関西美学音楽学論叢』第6巻、2022年

史料紹介

西澤忠志 立命館大学先端総合学術研究科 表象領域 一貫制博士課程

主要業績

- ・「日本における「演奏批評」の誕生：第一高等学校『校友会雑誌』を例として」『文芸学研究』22号、2019年
- ・「上田敏の演奏批評にみる西洋音楽の位置づけの変化に関する考察：「エキスペレッション」と思想的・社会的背景」『音楽学』第68巻1号、2022年

文献紹介

船木理悠 同志社大学嘱託講師、京都芸術大学、京都精華大学非常勤講師

京都工芸繊維大学非常勤講師（2023年4月～）

同志社大学大学院文学研究科美学芸術学専攻博士後期課程 修了、博士（芸術学）

主要業績

- ・「エルネスト・アンセルメの音楽美学における解釈と身体——現象学的身体論としてのアンセルメの音楽美学——」『音楽学』第63巻1号、2017年
- ・「作品と演奏の美学——ハンスリック美学とブルレ美学の比較から見えてくる音楽美学の流れ——」（清瀬みさを〔編著〕『カルチャー・ミックスIII』晃洋書房、所収）2020年
- ・「形式主義音楽美学と時間論の架橋——ジゼル・ブルレの音楽美学におけるヘーゲル美学の影響——」『美学』第74巻1号、2023年（掲載予定）